

5. 実地検証による課題の整理

基本構想において、特に重要と思われる特定旅客施設及び特定経路にかかる課題の整理を行った。

(1) 公共交通特定事業

特定旅客施設

【JR 釧路駅】

案内標識及び誘導表示の整備が望まれる。

切符販売機の高さが車いす対応とすべき。

4, 5 番ホームにエスカレーターがないため、「駅員が手伝いますブザー」の設置が望まれる。等

(2) 道路特定事業

歩道

【歩道幅員】

歩道幅員が狭い。

(検証例): 市役所～北大通間、興発ビル前からみずほ銀行(北大通)までの間。黒金町7丁目～北大通間、朝市横等の歩道が狭い。等

【段差・勾配】

朝市前の歩道は、傾斜角度がきつく通行しにくい。

歩道・車道の段差がきつく車椅子では通行がしにくい。

車両進入部分での歩道の勾配がきつい。等

【舗装面】

インターロッキングは、車椅子だと通行しづらいのではないかと。

歩道のタイル破損が目立つ。等

【案内標識】

電柱や標識が歩道の幅員を狭めている。

施設への案内標識の設置が望まれる。

市役所庁舎の車椅子通路の表示を通路入口にも設置し、わかりやすくする必要があるのでないか。

わかりやすい誘導サインの整備が必要。等

【視覚障害者誘導用ブロック】

観光国際交流センターと錦町駐車場の交差点に視覚障害者誘導用ブロックがない。等

【その他道路付帯施設】

歩道に立て看板があり通行に障害があった。等

【除雪】

歩道の排雪が良くない。等

(3) 交通安全特定事業

交通安全

【違法駐車行為の防止】

歩道に違法駐車がある。等

【信号機】

車椅子の方には手の届かない押しボタンの高さの手押し式信号機がある。

交差点では車椅子の方が渡りきるまでの安全・安心のために、青信号の点灯時間調整をするなどの対応が望まれる。等

(4) その他の事業

空中歩廊

【通路】

空中歩廊は、施設内バリアフリーを実施し、案内表示等に配慮する。等